

## 平成 27 年度事業報告書

## 会務 H27 年度事業報告

## 1) 会員管理

会員数(平成 28 年 3 月 31 日現在)

| 会員種別     | 27 年度入会者数 | 27 年度退会者数 | 27 年度末会員数 |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 個人会員     | 59        | 23        | 579       |
| 学生会員     | 142       | 78        | 167       |
| 海外会員     | 0         | 0         | 4         |
| *OECD    | 0         | 0         | 3         |
| *OECD 以外 | 0         | 0         | 1         |
| 法人会員     | 0         | 0         | 7         |
| 名誉会員     |           |           | 15        |
|          | 201       | 101       | 772       |

\*平成 28 年度の会費請求並びに会員証の送付は 4 月に行った。

## 2) 総会・理事会

## 1. 定時総会

2015 年 6 月 26 日(金) 14:00-15:30 於神奈川中小企業センタービル 13F 第一会議室

## 2. 理事会

2015 年 6 月 26 日(金) 15:30-17:00 於神奈川中小企業センタービル 13F 第一会議室

## 3. 理事会

2016 年 3 月 30 日(水) 14:00~17:00 於横浜情報文化センター 7F 小会議室

## 3) 第 25 回日本 MRS 年次大会報告

日本 MRS 主催の標記年次大会が 2015 年 12 月 8 日～10 日の期間、横浜市開港記念会館、横浜情報文化センター、波止場会館、万国橋会議センター、神奈川県民センター、横浜産貿ビルの 6 会場で横浜市後援の下に開催された。

この大会では、一昨年、昨年に引き続き、産業の活性化と地球環境問題を両立させるための革新的な技術創出を目指し、新規機能の探索、新規材料の創製、新規シンプルプロセスに関する分野横断的なテーマが挙げられていた。26 シンポジウム(内、国際シンポジウム: 5)が開催され、研究発表は 961 件、参加者は約 1085 名(内、海外から 110 名)であった。

## 4) 第 4 回日本 MRS 講演会

「単結晶に迫る／超える透明バルクセラミックスの開発の現状と課題」のテーマで、2015 年 9 月 29 日(火)13:00~17:00、横浜情報文化センター7階の大会議室で開催された。講師は 4 名で、参加者は約 28 名であった。

## 5) 横浜市次世代育成事業「日本 MRS 大実験室」の開催

2015 年 12 月 19 日(土)に当学会主催で中学生を対象とした講演会・体験学習会を開催した。当事業の参加者は 100 名であり、横浜市が当事業を開始して以来、最大の申込者数であったとの報告を受けた。

# 日本 MRS ニュース委員会 H27 年度活動報告

日本 MRS ニュース編集委員会  
委員長 中川茂樹

## 27-01 号 目次

-やあこんにちは

「IUMRS-ICA2014 へのご協力のお礼」

IUMRS-ICA2014 事務局長・九州大学教授 原 一広

第 24 回日本 MRS 年次大会開催報告

—エコ・エネルギーを切り拓く先進材料研究—

2014 年 12 月 10 日～12 日

横浜市開港記念会館、横浜市情報文化センター

第 3 回日本 MRS 講演会「関節軟骨損傷に対する再生・再建医療技術の現状と課題」 鈴木 淳史

日本 MRS 大実験室 有沢 俊一

-ご案内

第 25 回日本 MRS 年次大会

主 催 The Materials Research Society of Japan (MRS-J)

日 時 2015 年 12 月 8 日～10 日

場 所 横浜市開港記念会館、横浜市情報文化センター、万国橋会議センター

-To the Overseas Members of MRS-J

## 27-02 号 目次

-やあこんにちは

「超石器時代のその先」

東京工業大学 応用セラミックス研究所 所長 若井 史博

-研究所紹介

「鳥取大学工学部附属先端融合研究センター」

鳥取大学工学部附属先端融合研究センター センター長 岸田 悟

-トピックス

「プラズモン共鳴ナノ粒子を利用した光機能材料とデバイス」

東京大学生産技術研究所 教授 立間 徹

-海外便り

スタンフォード大学滞在記 梶上 輝顕

-ご案内

第 25 回日本 MRS 年次大会

主 催 The Materials Research Society of Japan (MRS-J)

日 時 2015 年 12 月 8 日～10 日

場 所 横浜市開港記念会館、横浜市情報文化センター、万国橋会議センター 他

-To the Overseas Members of MRS-J

## 27-03 号 目次

-やあこんにちは

「薄膜半導体材料作製プロセスにおける「プロセス診断」」

大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻電子光科学領域 招聘教授 松田 彰久

-トピックス

「熱分析による多段階固体反応の分離と速度論的解析」

広島大学大学院教育学研究科 教授 古賀 信吉

-トピックス

「多バンド超伝導の最近の話題」

国立研究開発法人産業技術総合研究所 田中康資 柳澤 孝

東京理科大学理学部 西尾 太郎、国立研究開発法人物質・材料研究機構 有沢 俊一

-ご案内

-To the Overseas Members of MRS-J

## 27-04 号 目次

-やあこんにちは

「エコマテリアルと日本の材料科学」

国立研究開発法人物質・材料研究機構エコエネルギーグループリーダー 篠原 嘉一

-研究所紹介

「九州工業大学超小型衛星試験センター」

九州工業大学 超小型衛星試験センター センター長 趙 孟佑

-トピックス

「ナノテクノロジープラットフォームと集積化 MEMS で拓く次世代 IoT デバイス研究」

東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻准教授 三田 吉郎

-IUMRS 報告

「ICMAT 2015 & IUMRS-ICA 2015 に参加して」 伊熊 泰郎

第 4 回日本 MRS 講演会 多々見 純一

-ご案内

-To the Overseas Members of MRS-J

## 配布方法

定期刊行ジャーナル(Trans. Mat. Res. Soc. Japan)に同封して配布

## 編集委員会 H27 年度活動報告

編集委員会  
委員長 原 一広

2015 年における Trans. Mat. Res. Soc. Japan の発行状況は表 1 のとおりである。以前に比べてページ数は少ないが、論文数は安定している。

表 1. 2015 年 Trans. Mat. Res. Soc. Japan の発行状況

|                   |     |     |     |      |
|-------------------|-----|-----|-----|------|
| Vol.              | 40  | 40  | 40  | 40   |
| No.               | 1   | 2   | 3   | 4    |
| 発行月(2015 年)       | 3 月 | 6 月 | 9 月 | 12 月 |
| ページ数              | 81  | 104 | 118 | 124  |
| 論文数               | 19  | 24  | 25  | 27   |
| 上記の内 Review paper | 0   | 0   | 1   | 1    |
| 上記の内一般投稿論文        | 0   | 1   | 1   | 2    |

### (1) 停滞論文のクリーニング

査読作業が停滞していた論文の整理に着手。2015 年 3 月の段階で 1 年以上停滞していた 7 本の論文は、著者へ謝罪すると同時に査読を継続する意思があるかどうか確認。結果、1 本については著者から査読継続希望の返信があり、無事に終了させた。残りの 6 本は著者からの返信なかったものが 4 本、宛先不明が 2 本であった。その後も、毎月リマインドメールを送り続けた結果、2015 年 11 月には初の「停滞論文 0」本を達成。

## (2) J-stage の先行公開

論文採択から本誌に掲載されるまでの時間短縮策の一環として、2015年12月号より本誌とJ-stageの公開の順番を逆転。結果、2015年11月にNo.4をJ-stageへ公開し、12月に本誌発行となった。今後は、よりJ-stageへの公開を早める施策を推進したい。

## 広報・情報委員会 H27 年度活動報告

広報・情報委員会 委員長 有沢 俊一

### 平成 27 年度報告

1. 会員向けマイページ機能の開発着手（使用開始はH28年度予定）。
2. 上記に先立って、日本MRSホームページのリニューアルおよびコンテンツアップデート。
3. IUMRS 関連会議へのリンク（IUMRS-ICAM2015 など）
4. 日本MRS ニュース等のHPへの掲載
5. 外部団体等により開催される会議（27年度これまで12件）の協賛可否決定およびその告知
6. 外部団体等から告知依頼された情報（協賛以外の会議、人材公募、ファンド公募等）の掲載可否決定（27年度これまで会議等1件、人材2件、ファンド：なし）及びその告知

### 第 25 回日本 MRS 年次大会報告

日本MRS主催の標記年次大会が2015年12月8日～10日の期間、横浜市開港記念会館、横浜情報文化センター、波止場会館、万国橋会議センター、神奈川県民センター、横浜産貿ビルの6会場で横浜市後援の下に開催されました。

この大会では、一昨年、昨年に引き続き、産業の活性化と地球環境問題を両立させるための革新的な技術創出を目指し、新規機能の探索、新規材料の創製、新規シンプルプロセスに関する分野横断的なテーマが挙げられていた。26シンポジウム（内、国際シンポジウム：5）が開催され、研究発表は961件、参加者は約1085名（内、海外から110名）でした。

# 表彰委員会 H27 年度活動報告

表彰委員会 委員長 節原 裕一

## 第 25 回日本 MRS 年次大会奨励賞受賞者一覧

| Symposium | 氏名                  | 所属  | Papert Title   |
|-----------|---------------------|---|--|
| A-1       | 寺西 貴志               | 岡山大学  | High-Rate Capability of BaTiO <sub>3</sub> Based Ferroelectrics-Active Materials Composite Cathode For Lithium Ion Battery   |
| A-1       | 稲葉 隆哲               | 日本大学  | Electric and Magnetic Properties of BiFe <sub>1-x</sub> Mn <sub>x</sub> O <sub>3</sub> Thin Films and CaFeO <sub>x</sub> /BiFe <sub>1-x</sub> Mn <sub>x</sub> O <sub>3</sub> Superlattices         |
| A-1       | 野本 淳一               | 高知工科大学  | The Characteristics of Structural Properties of Polycrystalline Al-doped ZnO Films by Direct Current Magnetron Sputtering using Various Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> Contents in Ceramic Targets |
| A-1       | 上田 大貴               | 大阪大学  | Effect of External Fields on Helical Magnetic Domain Structure in a Magnetolectric Hexaferrite   |
| A-1       | 小谷 厚博               | 大阪府立大学  | Magnetic Bubbles and Magnetic Phase Diagram in Manganites  |
| A-2       | 松尾 拓紀               | 東京大学  | Gap-state Engineering for Visible-light Photovoltaic Effect in BiFeO <sub>3</sub> -based Ferroelectric Thin Films  |
| A-2       | 鈴木 直哉               | 東京理科大学  | Electron-Ion Mixed Conduction and Electronic Structures of Nd <sub>1-x</sub> Sr <sub>x</sub> FeO <sub>3</sub>  |
| A-3       | 小土橋 陽平              | 物質・材料研究機構<br>/ICYS&WPI-MANA                                     | A System of Temperature Responsive Micelle for Efficient Drug Loading  |
| A-3       | 吉岡 俊介               | 横浜国立大学  | Effect of TiO <sub>2</sub> on Self-healing of Alumina Matrix Composite   |
| A-4       | 久保田 智章              | 山梨大学  | Lorentz Actuators Using Conducting Polymers  |
| B-1       | 木内 久雄               | 東京大学  | Observation of Horizontally Chemisorbed CO <sub>2</sub> on Nitrogen Doped Graphite by X-ray Photoelectron and Absorption Spectroscopy  |
| B-1       | 難波江 裕太              | 東京工業大学  | Non-Precious-Metal Cathode Catalysts Prepared from Polyimide Fine Particles  |
| B-1       | チャウハン シブラ           | 物質・材料研究機構   | Designing of Hetero-interface between Pt and Ceria Nanowire for Development of Pt Less Cathode with High ORR Activity  |
| B-2       | 玉井 七奈               | JX日鉱日石エネルギー株式会社   | Development of Membrane Materials for a High-purity Hydrogen Purification System with CO <sub>2</sub> Separation Capability  |
| B-2       | Chitho P. FELICIANO | University of Tsukuba/<br>Philippine Nuclear Research Institute | Anti-inflammatory Effects of pH-responsive Nitroxide Radical-containing Redox Nanoparticles against UVB-induced Skin Damage and Photoaging in Kud:hr- hairless Mice                                |
| B-3       | 藏重 亘                | 東京理科大学  | The Correlation between Photocatalyst and Co-catalyst Controlled at the Atomic Level   |
| B-3       | 辻 皓平                | 京都大学  | Development of Z-Scheme Water Splitting Systems using Keggin-type Polyoxometalates as a Shuttle Redox Mediator   |
| B-4       | Kewen SHI           | Beihang University  | Pressure Effect on Magnetic Transition and Thermal Expansion in Mn <sub>3</sub> Ga <sub>0.95</sub> N <sub>0.94</sub> by Neutron Diffraction  |
| C-1       | 横山 幸司               | 東北大学  | Defluorination-assisted Synthesis of Nitrogen-doped Single-walled Carbon Nanotubes and Their Electronic Properties   |
| C-2       | 新堀 佳紀               | 東京理科大学  | Precise Separation of Coordination Isomers of Ligand-Exchanged Au <sub>24</sub> Pd Cluster and the Mechanistic Insights of Ligand-Exchange Reaction  |
| C-2       | 関 淳志                | 香川大学  | An Anomalous Photovoltaic Effect in the Smectic Liquid Crystals with Spontaneous Polarization  |
| C-2       | Fengniu LU          | National Institute for Materials Science                        | A Clear Guidance for Room Temperature Liquid Pyrenes Exhibiting Intrinsic Pyrene Luminescence  |
| C-2       | 鈴木 朋哉               | 千葉大学  | Photoinduction of Helical Nanomorphology in Self-assembled Perylene Bisimides-azobenzene Triad   |
| C-3       | 三浦 俊太郎              | 埼玉大学  | Fine Structural Analysis, Formation of Interfacial Particle Films, and Accurate Estimation of Orientation in Polyguanamine Derivatives with a High Refractive Index                                |
| C-3       | 牧浦 理恵               | 大阪府立大学/<br>JST, さきがけ  | Bottom Up Assemblies of Highly-oriented Molecular Nanosheets with Regulated Nanopores Specifically Formed at Air/Liquid Interfaces   |
| C-3       | 田口 大                | 東京工業大学  | Visualizing Polarization Distribution Induced in Chiral-shape Domains of Phospholipid Langmuir Monolayer by Using BAM and EFISHG Microscope  |
| C-3       | 塩谷 暢貴               | 京都大学  | Preparation of a Highly Oriented Thin Film of a Functionalized Compound Using a Simple Spin-coating Technique  |

| Symposium | 氏名               | 所属                              | Papert Title   |
|-----------|------------------|---------------------------------|--|
| C-4       | 井改 知幸            | 金沢大学                            | Synthesis of Helical Conjugated Polymers Containing Glucose-Linked Biphenyl Units and Their Application to Chiral Functional Materials       |
| C-5       | Hyunwoong SEO    | Kyushu University               | Photovoltaic Potentials of Nano-particles based on Advanced Plasma Processes   |
| C-5       | 山田 令             | 東京大学                            | Molecular Dynamics Simulation of Mesoplasma Epitaxial Bridging   |
| C-5       | 中島 厚             | 大阪大学                            | Effects of Plasma-irradiation Distance on Oxidation Reaction in Liquid Induced by He/O <sub>2</sub> Plasma-jet Irradiation                   |
| D-1       | 劉 利明             | 東北大学                            | A Porous Hydrogel-based Microneedles Patch for Transdermal Tissue Fluid Monitoring   |
| D-1       | 山内 俊             | 宇都宮大学/JST-CREST                 | Suppressive Effects of the Biofouling on the Ultrafiltration Membrane Using the Immobilized Enzyme Prepared by Electrospinning               |
| D-1       | 阿部 結奈            | 東北大学                            | Development of Bioassay Sheet for Human Keratinocytes Using Stretchable Hydrogel   |
| D-2       | Ankita JAIN      | 東京大学                            | Microarray Technology for Quantitative Aptamer Screening   |
| D-3       | 櫻井 庸明            | 京都大学                            | Development of Evaluation Technique of Charge Carrier Transporting Property at Insulator-Semiconductor Interfaces                            |
| D-4       | 河村 彩香            | 千葉大学                            | Structural Color Materials from Core-Shell Particles Having Polydopamine Black Thin Layers   |
| D-4       | 檜垣 勇次            | JST-ERATO高原ソフト界面プロジェクト<br>九州大学  | Characterization of Hofmeister Counter Ions Effect on Hydration States of Poly(quaternary ammonium cation) Brushes                           |
| D-4       | 櫻本 詢子            | 横浜国立大学                          | Surface Design for Catch-and-release of Target Cells Using Aptamer and Zwitterionic Oligopeptide   |
| D-4       | 秦 裕樹             | 東京工業大学                          | Enzymatic Synthesis and Characterization of All-Cellulose Composite Hydrogels  |
| D-4       | 松川 滉             | 東京大学                            | Preparation of Surface Grafted Hydrogels by ARGET ATRP   |
| E-1       | Abdelhak CHETTAH | Université 20 août 1955- Skikda | Inelastic Thermal Spike Analysis of Swift Heavy Ion Induced Mixing at Metal/a-Ge Interfaces  |
| E-1       | 眞弓 蓮             | 大阪府立大学                          | Radiation Enhanced Precipitation of Solute Atoms in Al-based Alloys - Energetic Ion Irradiation Experiment and Computer Simulation -         |
| E-2       | 熊谷 悠             | 東京工業大学                          | Accurate Predictions of Point Defect Energetics in Semiconductors from First Principles  |
| E-2       | 榑原 寛史            | 鳥取大学                            | First-principles-derivation of Effective Model for Material Design in Strongly Correlated System   |
| E-2       | 赤田 悠輔            | 大阪大学                            | Analysis of Critical Factors in Thermal Expansion Coefficient of Complex Oxide   |
| E-2       | 金山 大祐            | 大阪大学                            | Impacts of Impurities Doped in Magnéli Phases Ti <sub>n</sub> O <sub>2n-1</sub> on Thermoelectric Properties by <i>abinitio</i> Calculations |
| E-3       | 岸 哲生             | 東京工業大学                          | Fabrication of Spherical Microcavity from Molten Glass Droplet on Substrate Using Localized-Laser Heating                                    |
| E-4       | 宇高 光             | 埼玉大学                            | Fabrication of the Biosensor Using IL-6 Antibody-CdSe/ZnS Quantum Dot Conjugate and Evaluation with Fluorescenceimmunoassay                  |
| F-1       | 足立 幸司            | 秋田県立大学                          | Non-destructive Screening Technique for Bending Materials and its Sustainable Material Allocation of Japanese Cedar.                         |
| F-2       | 久野 輝昭            | 神奈川大学                           | Basic Study of the Bactericidal Effects of Electrolyzed Water  |
| F-3       | 田中 寛人            | 東京工業大学                          | Preparation and Transport Properties of Single Crystals of Inorganic-organic Hybrid Materials  |
| F-3       | 大木 智未            | 横浜国立大学                          | Novel UV Protection Agent Using Bragg Reflection of Colloidal Photonic Crystals with Polycrystalline Structure                               |
| F-3       | 米元 謙太郎           | 東京工業大学                          | Transparent Conductive ZnO Films Fabricated at Low Temperature with Low Environmental Load   |
| F-4       | 岡田 穰謙            | 地球環境緑蔭塾                         | The Thermo-physical Characteristics of High Concentration Nb-H Alloy as an Eco-material  |
| F-5       | 佐々木 泰祐           | 物質・材料研究機構                       | Development of Strong and Ductile Wrought Magnesium Alloy  |

# IUMRS 対応委員会 H27 年度活動報告

IUMRS 対応委員会  
森 利之

1. IUMRS-ICA 2015 (28<sup>th</sup> June to 3<sup>rd</sup> July 2015, Suntec, Singapore) 関係
2. IUMRS-ICAM 2015 (25<sup>th</sup> October to 29<sup>th</sup> October, 2015 Jeju, Korea) へ参加すると共に、IUMRS 総会に出席 (出席者: 高井先生 (顧問)、鈴木先生 (顧問)、岸本先生 (顧問) 及び森)。
3. IUMRS-ICAM 2017 開催予告 (IUMRS-ICAM 2015 懇親会にて)
4. IUMRS Somiya Award 受賞者記念講演ならびに授賞式開催 (IUMRS-ICAM 2015 にて)
5. E-MRS と MRS-J の合同シンポジウム開催・運営に関する覚書 (Memorandum of Understanding; MoU) 締結
6. IUMRS-ICAM 2017 開催準備開始

## 【詳細説明】

1. IUMRS-ICA 2015 (28<sup>th</sup> June to 3<sup>rd</sup> July 2015, Suntec, Singapore) 関係

アジア地区MRSに所属するメンバーの会議が開催されたので、伊熊会長にご出席いただいた。  
アジア地区MRSとの密接な連携は、IUMRSのメンバーとの連携のうえで重要であることから、伊熊会長にadhering body 会議へご参加をいただき、アジア地区MRS代表者との友好関係を築いていただいた。

2. IUMRS-ICAM 2015 (25<sup>th</sup> October to 29<sup>th</sup> October, 2015 Jeju, Korea) 参加と総会出席

IUMRS-ICAM 2015開催初日の10月25日に、Jeju International Convention CenterにおいてIUMRSの総会が開催され、以下の報告事項や審議事項が検討された。

はじめに、高井先生の後任としてIUMRSの会長に就任されたハーバーマイヤー先生の挨拶と各国MRSからの代表出席者の挨拶が行われ、引き続き、以下の事項が検討された。

### 会議部門から：

IUMRS国際会議を提案するためには、原則、4年前の総会で提案に関するプレゼンテーションを行い、総会の場で承認を得る必要がある。

H27年の総会では、IUMRS-ICAM 2019の開催・運営に立候補した、E-MRSとMRS-Singaporeからのプレゼンテーションが行われた。

E-MRSは、2019年は毎年開催しているE-MRSの国内シンポジウムをすべてとりやめ、このIUMRS-ICAM 2019の開催・運営に専念する旨の決意表明を行い、一方、MRS-Singaporeは、シンガポール政府からのIUMRS国際会議誘致に関する強い要望があることや、QSワールド大学ランキング上位に位置するシンガポールの数々の大学が、国際会議開催をサポートするなどをアピールした。そのプレゼンテーションのあと、E-MRSの提案を聞いたうえでMRS-Singaporeが、提案をとりあげたことで、E-MRSが、IUMRS-ICAM 2019のホスト国になり、開催地はニースに決定した。

### Award委員会から：

森がIUMRS Somiya Award委員であることから、厳正な審査の結果、第10回Somiya AwardにはProfessor Ruslan Z. Valiev (Ufa State Aviation Technical University, Russia) と Professor Yuntian T. Zhu (North Carolina State University, USA)の2名からなる国際共同研究チームが選ばれた旨の報告がなされた。

#### 会員部門から：

MRSネパールが、新たにIUMRSのメンバーになることを希望していることをうけて、新しいメンバーの選定の方法についての議論がなされた。現在、Adhering BodyになっているMRSメンバーから情報をあげてもらえれば、それをもとに選定すればよいということになった。

#### その他：

現在のIUMRS (International Union of Materials Research Society)という名称を、International Union for Materials Researchという名称に変更して、より多くのメンバーがはりやすい枠組みにしてはどうかという提案がなされた。

シンガポール、中国、韓国からは、名称を変えるメリットは薄く理解できないという意見があった。そこで、その場で決議をせず、各国が持ち帰り、意見の集約を行うこととなった。

ハーバーマイヤー新会長や、昔MRS米国の代表であったカウフマン先生が名称変更を推奨している様子がうかがえる。

日本MRSとしては、これまでの枠組みをかえる必要性は見当たらないという姿勢を示すことが好ましいという意見が、参加者から多く聞かれた。

IUMRSのホームページが新しくなったことに関する報告がなされた。

<http://www.iumrshq.org/>

IUMRSの会計、ならびに2nd Vice president選出のために投票が行われ、その結果、会計はMRS-シンガポールから2nd Vice presidentは、MRS-ブラジルの会長が選ばれた。

### 3. IUMRS-ICAM 2017 開催予告 (IUMRS-ICAM 2015 懇親会にて)

10月28日(会議5日目)に行われた懇親会会場で、2016年開催予定のIUMRS国際会議と、2017年開催予定のIUMRS国際会議開催に関するプレゼンが行われた。

IUMRS-ICAM 2017(京都)の開催予告を森が行った。その予告のために、IUMRS-ICAM 2017の公式ホームページを急ぎ、立ち上げたにもかかわらず、懇親会会場には、ネットがきていないということで、急ぎよ、公式ホームページの各画面をコピーして、パワーポイントファイルを用いて、IUMRS-ICAM 2017の紹介を行った。

IUMRS-ICAM 2017の懇親会でも、2018年以降開催予定のIUMRS関連行事の紹介を行う時間帯を、懇親会のなかにもうける必要があるが、懇親会会場でのインターネットアクセスの確保は重要であると感じた。

### 4. IUMRS Somiya Award 受賞者記念講演ならびに授賞式開催 (IUMRS-ICAM 2015にて)

第10回 IUMRS Somiya Award の受賞チーム代表として、Professor Ruslan Z. Valiev (Ufa State Aviation Technical University, Russia)による受賞記念講演が、10月28日(会議5日目)に行われた。

その受賞記念講演内容をまとめた review paper (論文題目: Recent Findings in Superior Strength and Ductility of Ultrafine-Grained Materials) は、J-stage から全文閲覧可能。

該当する J-stage の URL : [https://www.jstage.jst.go.jp/article/tmrsj/40/4/40\\_309/\\_article](https://www.jstage.jst.go.jp/article/tmrsj/40/4/40_309/_article)

### 5. E-MRS と MRS-J の合同シンポジウム開催・運営に関する覚書 (Memorandum of Understanding; MoU)

#### 締結

2015年12月に、日本MRS（会長：伊熊泰郎 神奈川工科大学教授）は、E-MRS（会長：Thomas Lippert 教授 Paul Scherrer Institute、スイス）と、それぞれの年次大会で交互に、ジョイント・シンポジウムを企画・開催することを通して、両MRSの一層の連携強化と、国際共同研究の活発化を目的に、覚書を締結した。

また、本件に関するニュースを、日本MRSのホームページ（以下のURL）に掲載した。  
[https://www1.mrs-j.org/event/event\\_20151204.php](https://www1.mrs-j.org/event/event_20151204.php)

## 6. ICAM2017 の概要と準備状況